

国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成24年9月〇日

2 学年・組 第5学年〇組

3 指導事項

- 話すこと・聞くこと オ
 - ・ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ウ)
 - ・ 日常よく使われる敬語の使い方に慣れること。

4 単元名 パネル討論をしよう

5 言語活動

- ・ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。

6 単元の評価規準と目指す児童の具体的な姿

	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
評価規準	テーマについて自分の考えを明確にし、興味をもってパネル討論に参加しようとしている。	パネル討論の形式を利用し、互いの考えの違いを尊重しながら、話題への考えを深める話し合いをしている。	相手や場面に応じて、適切な言葉遣いをする。
目指す姿	パネル討論に興味をもち、テーマについて自分の考えを明確にし、グループの考えをまとめる話し合いに積極的に参加している。	異なる意見に対して、その根拠となる考えを理解しようとして聞き、話題への考えを深めるために、意見を述べたり、分からないことを質問したりしている。	丁寧な言葉遣いを理解し、相手や場面に応じて使っている。

7 単元について

- 児童の状況
 - ・ **互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと**

話すこと：5月の単元「ゲストティーチャーをすいせんしよう」の学習では、発表メモに伝えたいことをまとめることで、どの児童も話の構成を考え、複数の理由を挙げたり、具体的なエピソードを盛り込んだりしながら人物のよさが伝わるように話すことができた。しかし、理由につながりがなく説得力のない推薦理由になっていた児童や、発表メモを読み上げるだけで相手意識をもって話すことができない児童も数名いた。

聞くこと：友達の話に興味をもって聞くことは、どの児童もできる。しかし、相手が伝えたいことは何なのかを考えながら聞いたり、質問したいことを考えながら聞いたりすることが苦手な児童も2割程度いる。6月の単元「意見とその理由を聞き取ろう」では、話し手の意見と理由を集中して聞き取り、理由に対して自分の考えを述べることに進んで取り組むことができた。しかし、他の授業場面では、その力が十分生かせていない。

話し合うこと：小グループでの話し合いでは、どの児童も自分の考えを伝え合うことができる。発言することに対する抵抗が小さく、自分の考えを言いやすいと感じている児童が多い。また、友達の考えに反応したり、付け加えたり、異なる点についてさらに話し合ったりする姿も見られる。しかし、全体での話し合いになると、進んで発言する児童は4割程度である。また、積極的に発言する児童の中には、自分の意見を主張することに重点を置き、相手の立場を尊重した発言ができにくい児童もいる。

- ・ **相手や場面に応じて適切な言葉づかいをすること**

授業中は、丁寧な言葉遣いで話すことが意識付けられている。しかし、グループと全体などのように、場面によって言葉の使い方を意識して使い分けることは、まだ十分ではない。

- 教材の価値

- ・ **互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと**

パネル討論は、様々な立場から意見を出し合い、聞き手も参加して質疑応答や意見交換を行うことにより、自分の考えを深めていく話し合いである。討論の前には、自分の立場を明確にし、グループとしての意見を吟味しながら準備することが必要になる。また、決められた時間内で意見を述べるためには、発言内容を簡潔にしたり、あらかじめ質問を予想し返答を用意したりしておくなどの活動も大切である。これらの学習活動を進めると共に、役割に応じた討論を行っていくことで、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う力を高めていくことができる単元である。また、目的をもって話し合いを行うことで、話し手の意図をとらえながら聞いたり、自分の考えと比べながら聞いたりする力を高めることも期待できる。さらに、一つの考えに収束するのではなく、お互いの考えを聞きながら、テーマに対する考えを深めていくことが話し合いの目的であるため、互いの考えを尊重しながら、話し合う態度も身に付けていくことができる教材であると考えられる。

- 指導の工夫

- ・ **互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと**

話すこと：意見を説得力のあるものにするためには、理由を複数挙げることや、具体的活動が適切で分かりやすいものでなければならないことを押さえ、グループで協力して考えをまとめていくようにする。その場面では、理由と具体的活動を色別の付箋に書き、それを整理しながら発表メモにまとめる方法をとる。その際、これまでに身に付けてきた言語技術（結論先行、ナンバリングなど）を取り入れることを意識させることで、分かりやすく的確に表現する力を高めていきたい。

聞くこと：的確に内容を理解し、自分の考えを深めながら聞くためにワークシートを用意する。メモを取ることでばかりに集中し聞くことがおろそかにならないよう、話を聞き取る場面では、書き込める所が少ないワークシートを使い、話し手を見ながら聞かせるようにしていきたい。また、全体での討論に入る前には自分の考えを整理するために、共通点や相違点、関連付ける点、質問などを記入するワークシートを用意する。相手意識をもって聞き、さらに聞き取ったことを整理する活動を取り入れることで、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えと比べる力を付けさせたい。

話し合うこと：互いの立場を明確にし、相手を尊重しながら話し合う力を付けるには、だれもが自分の意見をもつと共に、みんなの考えをよりよいものにしていきたいという思いをもって話し合いに臨むことが大切である。そのため、テーマを身近で自分たちの生活に還元できるものにする。そのことで、自分の意見をはっきりさせ、意欲的に討論に参加することができると思う。また、クラスのみならず実現していこうという共通の目的をもたせていく。そのことが、互いの意見の勝敗を競うのではなく、みんなの考えをより深めていこうとする方へ意識付けることになり、他者の考えを尊重しながら話し合う態度を養うことにつながっていく。

さらに、発言が苦手な児童も、意欲的に話し合いに参加できるようにするため、全体討論の前に、聞き取った意見を整理し、自分の考えと比較する時間をもつ。その上で、小グループでの話し合いの時間を設ける。それらの活動を取り入れることで、発言の機会が少ないフロアの児童も、話し合いに積極的に参加しようとする意欲が高まり、友達の意見にかかわらせて発言していくことの楽しさを実感させることができると考える。さらに、そのことが、全体討論を深め、みんなで話し合うことよさを実感させることにつながると思う。

また、単元全体を通して全体で話し合う場面やグループで話し合う場面を繰り返しながら学習を進めていく。その中で、よりよく話し合うための力を身に付け、自分の考えが深まっていくことの楽しさを積み重ねていけるように、学習カードに話し合いの仕方のよかったことや、話し合っよかったことを記入できるようにしていきたい。

- ・ **相手や場面に応じて適切な言葉づかいをすること**

グループでの話し合いでは、話しやすい言葉遣いで話すことで意見を出しやすくする。また、全体での話し合いでは、これまでの学習で身に付けた丁寧な言葉遣いで話すことをさらに意識化させる。そのことで、場に応じた話し方が言語生活をより豊かにしていくことを感じ取らせていきたい。

8 単元の学習と評価

次	時	学 習 活 動 (評価方法)	観 点		
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
一	1	パネル討論について理解する <ul style="list-style-type: none"> 教材のねらいを確かめる。 教科書を読んで、パネル討論の進め方や役割分担を確かめる。 テーマを知り、意見を出し合う。 (発言・ワークシート)	○		○
二	2	パネル討論の準備をする <ul style="list-style-type: none"> グループで立場を決める話し合いをする。 テーマに対する自分の意見をまとめる。 (行動観察・ワークシート)		○	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 考えた理由や具体的な活動を色別の付箋に書く。 書いた付箋を利用して、グループごとに理由や提案を整理する。 グループで意見を発表メモにまとめる。 (行動観察・ワークシート)		○	
	4	<ul style="list-style-type: none"> グループで予想される質問や反対意見を整理し、返答を考える。 意見発表の練習をする。 (行動観察・ワークシート)		○	
	5	パネル討論を行い、考えを深め合う <ul style="list-style-type: none"> パネル討論を行う。 (本時) (行動観察・ワークシート)		○	○
	6	パネル討論で学んだことを確認する <ul style="list-style-type: none"> パネル討論のビデオを見ながら、考えを深める話し合いになっていたかを振り返り、学習のまとめをする。 (発言・ワークシート)		○	

9 本時の目標 (話す・聞く能力 二次5時)

- 互いの立場や意図を明確にしながらパネル討論を行い、自分の考えを深めることができる。

10 学習展開 (話す・聞く能力 二次5時)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準・評価方法																		
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 パネル討論の進め方を確認する。</p> <p>3 パネル討論を行う。</p> <p>① 初めの言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマの確認 <p>② パネリストの意見発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パネリストは発表メモを基に話す。 ・ 必要に応じてメモをとりながら聞く。 	<p>お互いの考えを明確にして話し合い、自分の考えを深めよう。</p> <p>○ 討論は、自分の考えを深めるためのものであり、意見の勝敗はないことを確認する。</p> <table border="1" data-bbox="225 734 850 1131"> <tr> <td>① 初めの言葉 (司会)</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>② 意見発表 (パネリスト)</td> <td>6分</td> </tr> <tr> <td>③ 質問や意見 (パネリスト)</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>④ 全体での話し合い</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ・ メモタイム</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td> ・ 小グループタイム</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td> ・ 全体討論タイム</td> <td>12分</td> </tr> <tr> <td>⑤ 考えをまとめる (パネリスト)</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>⑥ まとめの言葉 (司会)</td> <td>1分</td> </tr> </table> <p>○ パネリストの立場を掲示し、意識化を図る。</p> <p>○ 発表メモには要点だけを書かせておき、話し言葉で発表できるようにする。</p> <p>○ 簡単にメモをとることができるワークシートを用意して、集中して聞くことができるようにする。</p>	① 初めの言葉 (司会)	1分	② 意見発表 (パネリスト)	6分	③ 質問や意見 (パネリスト)	4分	④ 全体での話し合い		・ メモタイム	3分	・ 小グループタイム	5分	・ 全体討論タイム	12分	⑤ 考えをまとめる (パネリスト)	4分	⑥ まとめの言葉 (司会)	1分	
① 初めの言葉 (司会)	1分																			
② 意見発表 (パネリスト)	6分																			
③ 質問や意見 (パネリスト)	4分																			
④ 全体での話し合い																				
・ メモタイム	3分																			
・ 小グループタイム	5分																			
・ 全体討論タイム	12分																			
⑤ 考えをまとめる (パネリスト)	4分																			
⑥ まとめの言葉 (司会)	1分																			
<p>① 初めの言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマの確認 <p>_____ テーマ _____</p>	<p>○○小学校のみんなが気持ちよく過ごすために、自分たちにできることは何</p>																			
<p>・ パネリストの紹介</p> <p>_____ 意見 (立場) _____</p> <p>A 感謝の気持ちを伝える。</p> <p>B 気持ちのよいあいさつをする。</p> <p>C 他の学年と交流を深める。</p> <p>D すみずみまで掃除をする。</p>	<p>○ パネリストの立場を掲示し、意識化を図る。</p>																			

<p>③ パネリストによる質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一つずつ、立場ごとに質疑応答を行う。 ・ 必要に応じてメモをとりながら聞く。 <p>④ 全体討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモタイム ・ 小グループタイム ・ 全体討論タイム <p>⑤ パネリストによるまとめの発言</p> <p>⑥ まとめ言葉</p> <p>4 パネル討論で話し合ったことを基にして、自分の意見をまとめる。</p> <p>5 本時の振り返りをし、学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体討論に入る前に、聞き取ったことを整理する時間と小グループでの話し合いの時間を設け、全員が発言できるようにする。また、全体討論で、質問や意見を出しやすくする。 ○ 質問や意見など、自由に話せる雰囲気をつくる。 ○ 自分の意見（立場）に話し合いで深まった考えを織り交ぜて発言するよう伝える。 ○ ほかの人の意見を聞いてそのよい点を取り入れることや、そのために、自分の意見が変わってもよいことを伝える。 <p>C 児童への手立て：そばに行き声をかけて、友達の見解のよかったところに気付かせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いのよかった点について評価する。 	<p>【話聞】</p> <p>A：友達の見解のよさを根拠を挙げながら説明し、自分の考えを深める記述がされている。</p> <p>B：友達の見解を参考にして、自分の考えを深める記述がされている。</p> <p>(ワークシート)</p>
---	---	---